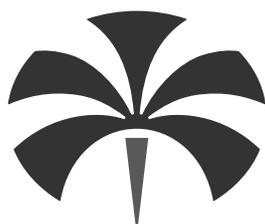


# 2023年度 学生募集要項

(2年次一般編入学試験)

工学部 建築学科



<新型コロナウイルス感染症への対応について>

新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学 Web サイト（入試情報サイト）

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>



2022年4月  
大阪公立大学

# 目 次

大阪公立大学の3つのポリシー.....	1
<b>I 募集人員</b> .....	3
<b>II 出願要件等</b>	
1 出願資格.....	3
<b>III 出願手続</b>	
1 出願方法 .....	4
2 出願期間 .....	4
3 出願書類等 .....	4
4 出願についての注意 .....	5
5 受験票等の送付 .....	5
6 受験上・修学上の配慮について .....	5
<b>IV 入学者選抜方法等</b>	
1 選抜方法等 .....	6
2 利用教科・科目及び配点 .....	6
3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場 .....	7
<b>V 合格者発表</b>	
1 合格者発表について .....	7
2 合格通知書及び入学手続書類 .....	7
<b>VI 入学手続</b>	
1 入学手続について .....	7
2 入学許可の取消し .....	7
<b>VII 学費（入学料・授業料等）</b>	
1 入学料.....	8
2 授業料.....	8
3 その他.....	8
<b>VIII 単位認定及び卒業要件</b> .....	8
<b>IX 経済支援制度について</b> .....	9
<b>X その他</b>	
○ 個人情報の取扱いについて .....	9
○ 個人別成績の情報提供について .....	9
○ 注意事項 .....	9
<出願書類所定用紙>	
・払込取扱票	
・入学願書等（入学願書・受験票・写真票・振替払込請求書兼受領証貼付台紙・履歴書・宛名ラベル）	

交通アクセス

問合せ先

# 大阪公立大学の3つのポリシー

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的・総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的・発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

### 学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

## 工学部

### 求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

### 建築学科

成熟期を迎えた社会の諸課題を的確に把握し、持続可能な生活空間を実現するためには、工学から自然科学、人文社会科学に至るまで、幅広い領域の知識・技能を統合する必要がある。

建築学科は芸術・学術・技術に立脚した「建築総合教育」と、学生の個性を育てる「少人数教育」によって、社会の諸課題に対し専門的な知識・技能を統合し、持続可能な生活空間の実現にむけて主体的に行動できるような、柔軟な発想力と論理的な思考力を備えたデザイナーやエンジニアの育成を目指す。

したがって建築学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求めている。

- 1 建築という形のあるものを実現するための芸術・学術・技術に幅広く興味のもてる人
- 2 立体的な思考にもとづく空間やものづくりに主体的に取り組める人
- 3 自分の意見を他人に伝えるコミュニケーションに意欲のある人

### 入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

#### 【一般編入学試験】

募集定員は1名とし、2年次に受け入れる。建築学科の専門教育を希望する短期大学や工業高等専門学校等の卒業生など、多様な経歴を有する学生を受け入れる。

※各学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



# I 募集人員

1名

(募集人員に関する注意事項)

- ・総合判定の結果により合格者数が募集人員に達しない場合があります。

# II 出願要件等

## 1 出願資格

出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者に限ります。

- (1) 学士の学位を有する者及び2023年3月31日までに有する見込みの者
- (2) 高等専門学校を卒業した者及び2023年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 我が国における修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、66単位以上を修得した者及び2023年3月31日までに修得見込みの者。

※ 出願資格(3)により出願しようとする者は、事前確認を行います。

※ 2023年3月31日までに所定の単位を修得できない場合は、試験に合格しても入学許可を取り消すことがあります。

- (4) 我が国における短期大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- (5) 我が国における専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は総単位数が62単位以上であるものに限る。）を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (6) 我が国における高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (7) 外国において、前(1)～(6)に相当する学校教育における課程を修了した者

※ 出願資格(7)により出願しようとする者のうち、外国の短期大学及び我が国における外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者は、出願資格の確認を行います。

- (8) その他、本学において上記と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(3)(7)の※により出願する場合は、事前確認を行いますので4月26日（火）までに入試課（電話番号：072-252-6305）へ申し出てください。

### Ⅲ 出願手続

#### 1 出願方法

編入学試験の出願手続は郵送により行います。

#### 2 出願期間

出願期間	送付先
2022年5月6日(金)～10日(火) 【簡易書留郵便(速達可)にて必着】	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課(中百舌鳥キャンパス)

- (注) ・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。  
・出願期間後に到着したものは、受理できませんので十分注意してください。ただし、5月8日(日)以前の発信局(日本国内)消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。

#### 3 出願書類等

入学検定料等を支払い後、以下の書類を出願期間内に郵送してください。

(注)

- ・出願書類は、必ず次頁「(9) 宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に封入してください。

書類種別	注意事項
(1) 入学願書	・受験票を受け取れる住所(連絡先)を記載してください。 (注)合格者発表日までに住所に変更が生じた場合は、入試課に連絡してください。
(2) 受験票	・記載漏れのないようにしてください。
(3) 写真票	・3か月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 写真の裏に志望学部、学科、氏名を記載してください。
(4) 振替払込請求書兼受領証	・入学検定料は30,000円です。 ・郵便局で、出願開始の1週間前から出願締切日までに本学所定の払込取扱票にて入学検定料を納付してください。「振替払込請求書兼受領証貼付台紙」に【振替払込請求書兼受領証】(コピー可)又は【ご利用明細票】を貼り付け提出してください。 (注)入学検定料が振込まれていない場合、若しくは【振替払込請求書兼受領証】(コピー可)又は【ご利用明細票】が出願書類と共に提出されていない場合は、入学願書は受理しません。
(5) 出願資格を証明する書類	・卒業(見込)証明書、在学証明書、退学(在籍)証明書のうちいずれか1通。 ・出願資格に該当する出身学校長が作成したもの。コピーは不可。
(6) 成績証明書	・出願資格に該当する出身学校長が作成し、厳封したもの。コピーは不可。

(7) 単位修得見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在学証明書を提出する者のみ。</li> <li>・科目名と単位数が記載されていること。</li> <li>・出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の科目名と単位数が記載されているもの。コピー可。</li> </ul>
(8) 履歴書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定の用紙を使用し、自筆により書いたもの。</li> </ul>
(9) 宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宛名ラベルを市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて提出してください。</li> </ul>
(10) 受験票等送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験票等を送付しますので、市販の長形3号（23.5 cm×12 cm）の封筒に郵便番号、住所、氏名を記入のうえ、414 円分の切手を貼り付けてください。</li> </ul>

#### 4 出願についての注意

- (1) 提出された出願書類は、一切返却しません。
- (2) 出願完了後は、出願内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では還付しません。

##### 【還付可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

※ 還付方法等は、出願締切日から1か月以内に入試課にお問い合わせください。

#### 5 受験票等の送付

出願手続を完了した者には、受験票等を簡易書留郵便で発送します。

(注)

- ・受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課（電話番号：072-252-6305）までお問い合わせください。
- ・受験票は入学手続等で必要となりますので、大切に保管しておいてください。

#### 6 受験上・修学上の配慮について

- (1) 受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

##### ア 相談の方法

下記、問合せ先に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

##### イ 事前相談及び申請期間 出願の10日前までに

(注) 上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

##### ウ 申請先及び問合せ先

大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）

TEL：072-252-6305 E-mail：nyusi2@ao.osakafu-u.ac.jp

(2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談は受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望される方は、下記にお問い合わせください。

【問合せ先】

<杉本キャンパス アクセシビリティセンター>

<https://www.omu.ac.jp/accessibilitycenter/>

TEL : 06-6605-3650



## IV 入学者選抜方法等

### 1 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、「筆記試験・口述試験・面接」により行います。

※大阪公立大学工業高等専門学校在籍者は「口述試験（筆記免除）」による選抜方法を許可される場合があります。

口述試験対象者の発表

発表日時 2022年5月20日（金）13時00分

発表場所 口述試験対象者受験番号の一覧を本学 Web サイトに掲載します。

[https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam\\_info/pass.html](https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html)

電話等による口述試験対象者発表の問合せには、一切応じません。



### 2 利用教科・科目及び配点

#### ア 筆記試験・面接対象者

試験の区分	教科	科目名等	配点
個別学力検査等	その他	小論文	50
	その他	面接	50
配点合計			100

※ 小論文は、建築学科専門分野に関連する基礎的課題の論述を課します。論述に加えて、簡単なスケッチ、イラストや工作を課すこともあります。

#### イ 口述試験（筆記免除）対象者

試験の区分	教科	科目名等	配点
個別学力検査等	その他	口述試験・面接	50
	その他	出願書類	50
配点合計			100

### 3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場

#### ア 筆記試験対象者 2022年6月5日(日)

学 科	試験科目・時間割		試験会場
建築学科	小論文	面接	中百舌鳥 キャンパス
	9:30～12:30	13:30～	

#### イ 口述試験対象者 2022年6月5日(日) 口述試験・面接 15時05分～ 試験会場：中百舌鳥キャンパス

予備日(筆記・口述試験対象者) 2022年6月19日(日)	自然災害等の不測の事態により、上記日程での 試験実施が困難となった際の予備日とする。
----------------------------------	---

## V 合格者発表

### 1 合格者発表について

合格者の受験番号を、下記のとおり本学Webサイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶ <a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html</a>	
---	---

発表日時	Webサイト掲載期間
2022年6月24日(金) 10:00	2022年6月24日(金) 10:00～2022年6月30日(木) 17:00

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

### 2 合格通知書及び入学手続書類

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続書類を速達・簡易書留郵便で送付します。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続書類が入学手続指定日前日までに到着しなかった場合は、問合せ先まで連絡してください。速達郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続指定日の受付時間以降の入学手続は一切認めません。

## VI 入学手続

### 1 入学手続について

入学手続書類の説明に従って、下表のとおり手続きしてください。

入学手続受付期間
2022年8月16日(火)～8月19日(金)

- (1) 入学手続書類は、上記受付期間内必着で郵送してください。
- (2) 上記受付期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

### 2 入学許可の取消し

- (1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

## Ⅶ 学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料）については、合格者に送付する入学手続書類に詳細を記載しますので、入学手続を希望する者は必ず入学手続書類を確認してください。各問合せ先については、裏表紙を参照してください。

（注）

- ・既納の納付金は還付しません。

### 1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の1年以上前（2023年4月入学者の場合、2022年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票を有する者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

入学料は、入学手続時まで所定の振込用紙にて納付してください。

（注）

- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学料を還付しません。

### 2 授業料（年額）535,800 円

（在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。）

### 3 その他

#### (1) 各種団体加入費

各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。

#### (2) キャンパス間の移動に要する経費

キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

#### (3) 学修用個人ノートパソコン（必携化について）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。そのため、ノートパソコンをご準備いただく必要があります。ノートパソコンの必要スペックについては、本学のWebサイトをご覧ください。

#### (4) その他、学部・学科等によって諸費用等が必要となります。詳細は、入学手続書類送付時に案内します。

## Ⅷ 単位認定及び卒業要件

入学時に出身（在学）学校等で修得した科目の内容等に応じて本学としての単位認定を行います。科目内容等によっては認定を行わない場合もあります。

出身（在学）学校等と志望する学科の専門分野が大きく異なる場合、単位認定ができない場合があります。

卒業の要件は、3年以上在学し、入学時に認定された単位と合わせて本学所定の単位を修得することが必要です。

## Ⅸ 経済支援制度について

### 【<国の支援>高等教育の修学支援新制度】

大学等における修学の支援に関する法律に基づき、2020年4月から学部・学域生を対象に修学支援新制度が開始されています。家計収入や成績の要件を満たす学生は、授業料の減免および給付型奨学金(返還の必要のない奨学金)の支給を合わせて受けることができます。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

<文部科学省公式サイト 高等教育の修学支援新制度>

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



### 【<大阪府の支援>大阪公立大学等授業料等支援制度】

大阪府では、親の経済事情や家庭の個別事情によって、大阪の子どもたちが進学を諦めることなくチャレンジできるよう、大阪で子育てをしている世帯への支援として、国の制度に府の独自制度を加え、授業料等の無償化(減免)を実施します。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

<大阪府公式サイト 大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度>

<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/musyuo/index.html>



※なお、各制度の申請等の詳細については、確定次第、改めて大阪公立大学の Web サイトにてご案内します。

## X その他

### ○ 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

### ○ 個人別成績の情報提供について

受験者本人からの請求により、個人別成績を提供します。請求期間は、2023年5月8日(月)から1か月とします。請求方法等の詳細については、入試課までお問合せください。

### ○ 注意事項

- (1) 大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 重要なお知らせ ▶▶▶

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/news/>



### (2) 詐欺まがいの行為について

試験場周辺において本学関係者を装い、受験者に「可否連絡をする」、「緊急時に自宅に連絡する」などと言葉巧みに近寄り、個人情報を記入させ、現金を要求する行為が発生しています。本学関係者が受験者に現金を要求することは一切ありませんので注意してください。